



第 13 課 学校で

できることの具体例

- ㊦ 学内の掲示板や案内図などを見て、必要な情報（課題・教室・サークルのお知らせなど）がわかる。
- ㊦ シラバスを見て、履修の条件や内容がわかる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】文、研、究、課、習、堂（2ページ目）題、席、欠

【読める】実習

◎準備するとい物

学習者が通っている学校や会社の構内図、学習者やその家族が通っている学校からのお知らせなど

◎とびら全体について

この課では、主に大学のお知らせや掲示物を取り上げていますが、学習者の状況に応じて、場面や設定を変えるといでしょう。例えば、学習者にお子さんがある場合、子どもの学校からのお知らせなどを教室に持ってきてもらい、学習漢字があるか、または、どんなことが書いてあるか一緒に読んでみることもできると思います。学習者の置かれている環境に合わせて学習すると効果的です。

【1ページ目と2ページ目の上半分】

◎問題

①～⑫はどんな建物か答えてもらいます。読み方がわからない場合でも、学習者に文字から推測してもらいます。

◎教室でのやり取り例

①（1ページ目のイラスト全体と下の文字を見て）

T：ここはどこだと思いますか。

L：学校（大学）だと思います。

T：どうして学校（大学）だと思いますか。

L1：教室があります。

L2：図書館があります。

T：そうです。これは大学の案内の地図です。みなさんも初めて大学に行ったとき、見ますね。

どこに何がありますか。確認しましょう。

② T：「①教室棟（文学部）」を指して）ここは何の建物ですか。

L：教室です。

T：何を勉強する教室ですか。

L：教えます、教える勉強です。先生になりたい人が勉強します。

T：そうですね。教育学部といいます。

* 「育」は学習漢字ではないので、特に触れなくてもいい。

〈文学部を指して〉これは？

L：……学部、何ですか。

T：これは「ぶんがくぶ」です。

* ここで、2 ページ目のイラストと説明を見る。または、イラストを拡大しておき、説明するときに見せる。以下同様。

③ T：〈「②実習棟」を指して〉ここはどんな建物ですか。

L：……。習います……？

T：〈「習」を指して〉これは「習います」の漢字です。ここは「じっしゅう」をするところです。

「じっしゅう」は何ですか。〈2 ページ目のイラストを見てもらう〉

L：料理を作ります。

T：そうです。いろいろなことをしながら勉強します。

この漢字は「じっしゅう」と読みます。読み方を覚えましょう。

* 「実習」…「読める」の漢字

④ T：〈「④学生課」を指して〉ここは、誰が何をするところですか。

L：学生が学校のスタッフにいろいろ聞きます。話します。

T：そうです。ここは「がくせいか」というところです。

⑤ T：〈「⑦研究」を指して〉ここはどんな建物ですか。

L：……。

T：〈「究」を指して〉この下のパーツの漢字は何ですか。

L：きゅう。

T：そうです。だから、この漢字も「きゅう」と読みます。何キユウだと思いませんか。

L：……。けんきゅう……？

T：そうです。この漢字は「けんきゅう」と読みます。研究するところですね。

⑥ T：〈「⑨食堂」を指して〉ここは何をするところですか。

L：食べます。レストラン。

T：そうです。ここは「しょくどう」です。

〈「食堂」と板書して「堂」を指して〉この漢字は「どう」と読みます。

* すべての建物の話をすると時間がかかるので、提出漢字の部分に留めます。「⑥図書館」「①売店」「⑫留学生センター」

は既習ですので、時間があれば復習として触れるといいと思います。

【2 ページ目の下半分：お知らせ】

① (上のお知らせを見て)

T：これは誰へのお知らせですか。

L：文学部の1年生です。

T：何をしますか。

L：レポートを書きます。

T：クラスでしますか。うちでしますか。

L：わかりません。

T：〈「課題」を指して〉これは「かだい」です。課題はうちでします。宿題です。

②（下のお知らせを見て）

T：これは何ですか。

L：留学ガイダンスです。

T：学生課にパンフレットを取りに行く人は誰ですか。

L：……。け……。

T：学校を休んだ人は……？

L：「けっせき」です。けっせきしゃ？

T：そうです。欠席者は学生課に行って、パンフレットをもらいます。

③ 「全」

(p.147 Ⅲのイラストを拡大して)

T：〈「就職ガイダンス」の「全学年」を指して〉何年生が聞きに行くことができますか。

L：……？ みんな？

T：これは「ぜん」という漢字です。ぜん……？

L：ぜんいん？

T：はい。そうです。全員の意味です。「ぜんがくねん」と読みます。だから……？

L：全部の学年の学生が行けます。

書きマス目ページ

◎覚え方のヒントと留意点

134 「究」

数字の「九」と同じパーツがあるので、同じ読み方をすると紹介するといいでしょ。

136 「題」

大貝について紹介してもいいでしょう。このテキストでは「大切なもの」と紹介しています。

138 「堂」

上の部分が「ツ」ではないことを確認します。パーツに分けて、ストーリーで覚えてもよいでしょう。

例) 土曜日に、食堂（屋根があるところ＝宀）で、食べます（口）

139 「席」

机といすを書き、そこに学生が座っているイラストで覚えるのもいいでしょう。



ポイント

- ①……パーツの問題
- ②④……字形の問題
- ③……送り仮名の問題
- ⑤⑥……似ている漢字の問題
- ⑦……読み方の問題

練習1 書いてみよう

II やり方がまったくわからない場合は、読み方だけを先に確認してもいいでしょう。

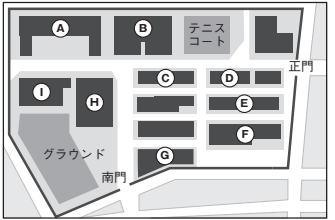
練習2 やってみよう

- I 「予習」がわからなければ、「予」は「予約」「予定」で既習ですので、ヒントを出してみてください。クラスのレベルによっては、金曜日の「文化」にも触れてもいいでしょう。
- II ※構内図の記号が、アルファベット（A～I）ではなく、数字になっています。正しくは、アルファベット（A～I）です。下の図をお使いください。

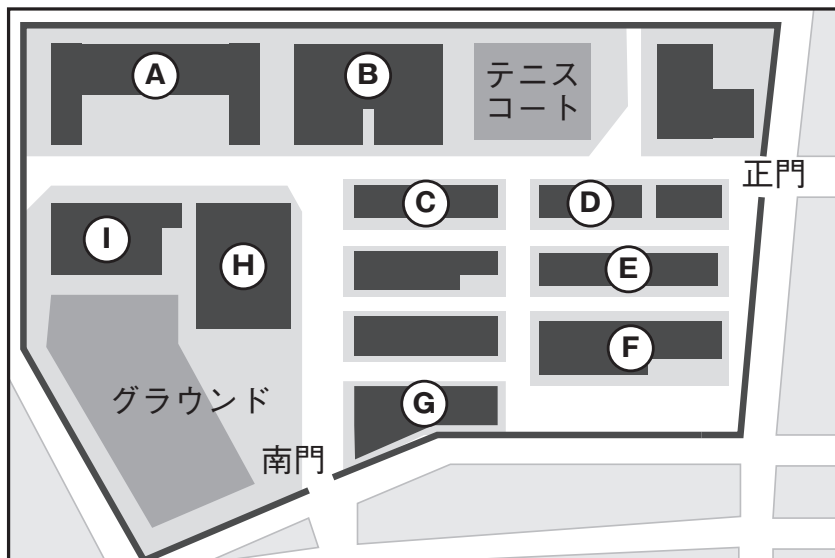
必要な部分（場所）だけ、キャッチするように促してください。1つ聞いたら、それを探す時間を少し取ると思います。

【学内案内図】

A	学生寮
B	1号館（工学部、実験室、実習室）
C	3号館（外国語学部、文学部）
D	5号館（学生課・教務課・事務局）
E	6号館（共同研究室・留学生センター）
F	図書館
G	講堂
H	体育館
I	学生食堂・売店



(拡大版) →



- Ⅲ ① (ア) 「実習」は「読める」の漢字ですので、答えの欄に書く際は「5号館」「じっしゅう室」で構いません。
(イ) 運動なのでダンス部のお知らせを見ます。

- Ⅳ ①最後の「教育実習じゃなくて、文学にします」から、答えはBになります。

【教室でのやり取り例】

T：みなさんは大学や専門学校に入学しました。どのクラスを取るか考えます。

みなさん、「シラバス」は何ですか。

*シラバスを拡大したものなどを掲示してもいいでしょう。

L：……。授業の説明……？

T：はい。どんな授業か、の説明です。どんな授業がありますか。

L：……。

T：みなさん、「授業」の漢字を勉強しましたね。どこにありますか。

L：〈「授業コード」「授業科目名」の場所を指摘してもらう〉じゅぎょう…か……？

T：〈「授業科目名」を指して〉この意味は何ですか。授業…科……、最後のこの漢字は？

L：な…なまえ？

T：そうです。授業の名前です。「じゅぎょうかもくめい」と読みます。

授業科目名のところを見てください。どんな授業がありますか。

L：実習？ 日本文学。日本…研究？

T：はい。一番上は何かの実習の授業ですね。次は文学で、最後は何かの研究をします。

では、CDを聞いてみましょう。

*「教育」「経済」は答えのヒントになるので、ここでは触れません。

クラスのレベルによっては、ここで先に講義内容に目を通してもらってもいいでしょう。ただし、しっかり読んでしまったり、意味を取ってしまうと聴読解の練習にならないので、すべてがわからなくても一度聴いてから解法を学習者と考えるといいでしょう。

②～④は、音声を聴いて答える問題ではありません。「講義内容」から読み取ってもらってください。